

ちょっとだけ観光できる橋

国立病院機構久里浜医療センター
診療放射線技師長
關本 宏二

先日、「あやとりはし」を渡ってみた。温泉街から山側に溪谷を渡る赤く塗られた鉄製の橋だが、S字状に作られ、少し下り勾配が付いている。石川病院から自動車で30分ほど、山中温泉に沿って流れる大聖寺川に架かる、人だけが渡れる橋だ。大聖時川は鶴仙溪という美しい溪谷を流れ、温泉街対岸の遊歩道は、温泉客が散策するのにうってつけだ。「あやとりはし」の上流には「こおろぎ橋」という、こちらのほうが歴史ある橋があるので、もしかしたら周遊できるように作られたのかもしれない。



屋根のある橋が映画「マディソン郡の橋」にもあったが、全く違う“和の趣”の屋根付きの橋が長野県の鹿教湯温泉にある。クリント・イーストウッドは橋を自動車で渡ってきたかも知れないが、和の趣に自動車は登場しない。この橋も、人専用である。内山川に架かる「五台橋」といい、温泉街対岸の菩薩様や薬師如来様のところにつながる橋だ。この橋は風情という言葉がとっても似合う。

茨城県常陸太田市にある「竜神大吊橋」はまさに観光用の橋で、竜神ダムで作られた人工湖の上に架かっている。観光用と書いたが、ここはそれだけでなく、高さ100メートルのバンジージャンプがで

きる橋でもある。飛ぶために来る人もいるようで、見ていると、それほど間をおかずに飛んでいた。が、僕は秋になれば橋から見る紅葉が美しいだろうなどは思ったが、飛びながら見たらどうだろう？などは、これっぽっちも思わない。

NHKの朝ドラ「とと姉ちゃん」で、主役のとと姉ちゃんが妹の所へお弁当を届けるために走っていたのは、「蓬莱橋」ではないか。蓬莱橋は静岡県島田市にある木製の橋で、とても長い。自動車は通れないが歩行者専用ではない。なぜなら、通行料を支払う料金所では、別料金で自転車を貸してくれるから。この橋は川幅も広い大井川に架かる900m近い長さの橋で、もともとは実用向きに架けられたらしい。したがって対岸に観光名所があるわけではない。つまり見物客は皆同じ橋を往復することになる。時代劇の主人公にでもなった気分を味わいながら渡り始めるのだが、とても長く、橋の中間点に書いてある「ど真ん中」の文字を帰りに見た時には、まだ真ん中？という気分に。



橋に行っても、橋に何かを求めているわけではないので、詳しいことはほとんどわからないのですが、何かの目的があるわけではなく単に目的地として出かけることを楽しんだり、どこかのついでに寄ってみたり、有名な観光地は人が多くて……という方は、こんな橋を見るのはいかがでしょう？